

12月記者懇談会

平成27年12月24日
午後1時30分 203会議室

出席者：信濃毎日新聞、中日新聞、長野日報、みのわ新聞、伊那ケーブルテレビ
事務局：三井みのわの魅力発信室長、藤澤係長、鈴木係長、有賀秘書

行事予定（担当課PR分）

1/11 小正月行事を体験しよう！【説明者：博物館 柴係長】

小正月行事を体験。季節を感じてもらう。

1/30 あんどんの灯りの中で昔話を聞こう【説明者：博物館 柴係長】

昔の雰囲気が残る展示室で電気をつけずにあんどんの灯りをともし、その灯りの中で箕輪の昔話の読み聞かせをしていただく。（2～3話）

「あいさつで広げよう地域の絆」懸垂幕の掲出【SC：小田切係長】

セーフコミュニティ活動を推進し、安全安心なまちづくりを行うため「あいさつで広げよう地域の絆」の共通・共感テーマ懸垂幕を役場庁舎に掲出します。

掲出期間は1/4から再認証式まで（H29.5月頃を予定）。

SCマグネットの活用【SC：小田切係長】

公用車に、SCのマークを施したマグネットを貼り付けることにより、セーフコミュニティ国際認証都市である箕輪町が安全・安心のまちづくりに力を入れていることをPRする。1/4から55台を予定。

1/23 羊毛フェルト講座【図書館：平出課長補佐】

3館イベントで好評だったため講習会を開催。

広報トピックス

・広報みのわ1月号記事紹介

60周年が終わり、裏面を町の輝いている人や団体を紹介するシリーズに変更



・みのわの魅力発信室フェイスブックを開設

質疑応答

質) 小正月、あんどん共に事前申込必要か。昨年の参加者数は。

答) 事前申込は不要。昨年は約40人の参加があった。

質) 道具の年取りとは。

答) 家庭で行われている『道具の御年取り』。臼や杵、鍬など農作業に使う道具を労う行事。お餅やお神酒を供える。

町長コメント

『振興計画パブリックコメントの実施について』

今年は計画の年だった。来年は実行の年。第5次振興計画案を仕上げた。計画をPRしていく。みのわ未来委員会から原案をもらい、今日からパブリックコメントを募集する。多くの町民に参加していただき作成した。計画には『町民にお願いしたいこと』、『地域にお願いしたいこと』を掲載した。

また、箕輪チャレンジ17本を示した。地方創生戦略の最終版、町の来年度の予算編成によって変わることもあるが、これが主要政策となる。

基本計画は、未来委員会の6つの専門部会が方向性を示している。具体的な事業は書いていないため、今後、実施計画みたいなものを作らないといけない。

各区の計画は細かく書いてある。15区がどういった方向で地域をつくっていくかに主眼を置いて検討してもらった。多くの人に参加してもらい、住民のものになったと感じている。

年末年始の間でパブリックコメントをもらい、整理し2月初旬の臨時議会で審議する。おもしろいものがあったというのが率直な感想。広域、他県との連携については時間をおって計画をする。

次回 1月22日(金) 午後1時から 203会議室